

平成21年8月教育委員会会議の要旨

議 案

議案第1号『平成21年度山口県一般会計補正予算（第2号）についての意見の申出について（報告承認）』について

【概要】

1 中国・九州北部豪雨による被害状況（教育委員会関係）

（1）被害状況

- ・人的被害 なし

（2）施設被害

種 別	箇所数	被害額	主な被災箇所	被害額
学校施設	35	133,129		
小学校	13	25,409	・向陽小学校【長門市】	9,450
			法面崩落による運動場等への土砂流入	
中学校	14	46,960	・杵島小学校【周南市】	8,400
			法面土砂崩れ・擁壁ひび割れ	
高等学校	6	60,400	・鼓南中学校【周南市】	20,160
			法面崩落による進入路への土砂流入	
特別支援学校	2	360	・太華中学校【周南市】	11,520
			法面土砂崩れ	
その他施設	6	45,872	・防府西高等学校	54,183
			裏山土砂崩れ、法面・防球ネット・ガードレール崩落	
社会教育施設	2	872	・熊毛北高等学校	3,192
			法面崩落、バックネット・フェンス倒壊	
体育施設	4	45,000	・山口南総合支援学校	250
			農業用水路への土砂流入	
文化財	8	40,720	・有帆公民館【山陽小野田市】	872
			火災報知器及び煙感知器故障	
			・榎野川運動公園【山口市】	30,000
			河川氾濫による備品・グラウンド真砂流出、フェンス破損	
			・やまぐちリフレッシュパーク【山口市】	5,000
			裏山土砂崩れにより運動広場及びテニスコートへ土砂流入	
			・史跡萩往還【萩市・山口市】	22,000
			5箇所で表土流出による洗掘等が発生	
			・名勝毛利氏庭園【防府市】	9,000
			表門地下の石組暗渠損壊	
計	49	219,721		

2 平成21年度8月補正予算概要

(単位：千円)

事業名	今回 補正額	主な内容	
		被災施設	被災箇所
県立学校施設災害復旧事業費	60,000	防府西高校他3校	裏山土砂崩れ・グラウンド法面の崩壊他
指定文化財保存事業費補助	5,460	萩往還(萩市・山口市)他3件	粹坂周辺、一升谷周辺の石畳他
計	65,460		

議案第2号『山口県スポーツ振興審議会委員の任命について』

【概要】

スポーツ振興法第18条第4項並びに山口県スポーツ振興審議会条例第2条及び第3条の規定に基づき、山口県スポーツ振興審議会の委員を以下のとおり任命する。

山口県スポーツ振興審議会委員(案)

任期：平成21年8月30日～平成23年8月29日

	部門	氏名	役職等	新・再
1	スポーツ	曾根 涼子	山口大学教育学部准教授	再任
2		弘津 公子	山口県立大学看護栄養学部講師	新任
3		岡村豊太郎	東亜大学人間科学部教授	新任
4	総合	小島 毅	きらら山口クラブヘッドコーチ	新任
5		和田 崇子	山口県スポーツ医・科学サポート委員会委員	再任
6	生涯 スポーツ	稲村みどり	(社)山口県レクリエーション協会理事	再任
7		井上登代子	菊川スポーツクラブ クラブマネージャー	再任
8		小田 智佳	下関市障害者スポーツセンター体育指導員	再任
9		祝 光雄	山口県体育指導委員協議会副会長	再任
10	成年 スポーツ	渡壁 秀治	宇部興産株式会社ソフトテニス部総監督	新任
11		落合 勇夫	山口県弓道連盟監事	再任
12		濱田真由美	山口陸上競技協会女性委員長	新任
13		福田 愛子	日立笠戸バスケットボール部コーチ	新任
14	少年 スポーツ	吉野 紀生	誠英高等学校校長(中高私学校長会)	新任
15		高津 英明	山口県スポーツ少年団指導者協議会幹事	再任
16		田邊 克己	山口県中学校体育連盟会長	再任
17		豊岡 芳和	山口県高等学校体育連盟会長	再任
18	行政	吉田 師郎	山口県都市教育長会会長	再任
19	公募	増田 貴信	阿知須共立病院医療ソーシャルワーカー	新任

【質疑】

質問) この審議会は年に何回会議を開催しているのか。

回答) 通常、年に2回会議を行っている。

報告事項

◆平成22年度(2010年度) 山口県立学校職員(寄宿舎指導員)採用候補者選考試験実施要項について

【概要】

◇職種、採用予定人員及び職務の概要

職 種	採用予定人員	職 務 の 概 要
寄宿舎指導員	2人程度	特別支援学校の寄宿舎における児童、生徒の日常生活上の世話及び生活指導に従事する。

◇受験資格

昭和55年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた者

◇志願書類等の受付期間

平成21年9月24日(木)から10月5日(月)まで

◇試験の期日・場所

- ・期 日 平成21年10月18日(日)
- ・場 所 山口県セミナーパーク

◇試験の内容

教養試験、小論文、面接、適性検査

◇採用候補者名簿登載者の発表

- ・期 日 平成21年11月20日(金)
- ・本人に文書で通知するとともに、採用候補者名簿登載者の受験番号を同日午前9時に県庁インフォメーションプラザに掲示する。また、県教育委員会のホームページに採用候補者名簿登載者の受験番号を掲載する。

◇選考結果の情報提供

- ・選考試験の不合格者に対して選考結果を通知する。
- ・情報提供の内容は、総合成績ランク及び各試験項目の評価ランクとする。

◇試験問題及び解答例の公開

- ・公開内容 教養試験問題の解答例、小論文テーマ
- ・公開期日 平成21年10月26日(月)以降
- ・公開場所 山口県情報公開センター

◆平成21年度全国学力・学習状況調査の結果について

【概要】

1 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証

し、その改善を図る。

- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査期日

平成21年4月21日（火）

3 4月21日に調査を実施した学校数・児童生徒数

学 年	学 校 数	児童生徒数
小学校第6学年	市町立小学校 319校	児 童
	特別支援学校 1校	12,741人
中学校第3学年	県市町立中学校 158校	生 徒
	中等教育学校 1校	
	特別支援学校 4校	12,472人

4 調査内容

- ①教科に対する調査（国語、算数・数学）
- ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

◇結果概要（県市町立学校）◇

1 教科に関する全体結果

- ・ 平均正答率を山口県と全国とで比べると、小・中学校ともに、調査を実施した過去3年間で最も良い結果である。中学校では4分野全てにおいて全国平均を上回っており、小学校では下回ってはいるものの、特に、算数の「知識」に関する問題の平均正答率が全国平均レベルになるなど、全国平均に近づいている。
- ・ 「知識」に関する問題に比べて、「活用」に関する問題の平均正答率が低く、19・20年度の結果と同じ傾向がみられたが、中学校国語では、「活用」に関する問題の平均正答率が大きく上昇するなど改善の兆しがみられる。

2 生活習慣や学習環境等に関する結果

①児童生徒に対する調査

【望ましい状況】

- ・ 朝食を毎日食えること、起床・就寝時刻はこれまでと同様に望ましい傾向。
- ・ いじめを許さない心、きまりを守る態度、人の役に立ちたいという思いは昨年度よりも改善し、これまでと同様に全国と比べると良い傾向。
- ・ 近所の人への挨拶、地域行事への参加は昨年度よりも改善し、全国と比べると良い傾向。

【課題とみられる状況】

- ・ 感想文や説明文を書くことを難しいと思う割合が、全国と比べて高い。
- ・ 学校の授業時間以外での学習時間（小学校）、自分で計画を立てて取り組む学習は昨年度より改善傾向にあるものの、間違えた問題の復習は全国と比べて低い。
- ・ テレビやビデオ・DVDの視聴時間は全国と同様に長い。

②学校に対する調査

【望ましい状況】

- ・児童生徒の発言や活動時間を確保して授業を進める学校、国語の指導として書く習慣を身に付ける授業を行った学校の割合は、年度ごとに改善傾向にあり、全国と比べても高い。
- ・昨年度の調査結果を学校全体で活用した学校、保護者や地域の人たちと共有した学校の割合は、全国と比べると高い。
- ・授業参観の年間実施回数、PTA や地域の方のボランティアとしての諸活動への参加、学校や地域であいさつをするよう指導している学校の割合は、全国と比べ高い。職場見学や職場体験活動を行っている小学校の割合は、年度ごとに高くなっており、全国と比べても高い。

【課題とみられる状況】

- ・算数・数学の習熟の遅いグループに対する少人数指導を行った学校の割合は、全国と比べると低い。
- ・授業研究を伴う校内研修の実施回数、校長による授業参観の頻度は、昨年度より改善しているものの、全国と比べると低い傾向。
- ・放課後を活用した補充学習を実施した学校は、前年度に比べ大きく改善しているものの、ボランティア等による授業サポートを行っている学校と同様に、全国と比べると低い。

3 今後の対応

- 各学校は、今回の調査結果で明らかになった成果や課題を踏まえ、調査後直ちに実施している課題解決に向けた取組を改善し、具体的な授業改善を重点的に進めるなど全教職員による実効性のある取組を、保護者、地域と一体となって推進する。
特に、個々の児童生徒の学習状況について保護者と相互に情報や課題の共有を図り、一人ひとりに応じた指導の充実等に取り組む。
- 市町教委は、市町全体及び学校ごとの課題を踏まえ、これまでの取組を検証し、各地域の実態に即した学力向上対策を一層推進するとともに、校内研修の充実や授業改善等の学校ごとの個別課題に対しては、専門的、継続的かつ重点的な指導・助言に努めるなど、学校と一体となって学力の向上を図る。
- 県教委は、県全体、各市町及び学校の状況をしっかりと把握し、授業改善のための教材開発、効果的な実践事例の全県的な普及促進、授業力向上を図る研修の充実等、市町教委と一層緊密な連携を図りながら、学力向上に向けた取組をさらに強化・加速化する。

【 質 疑 】

- 質問) この問題を作成した側は、正答率をどのくらいに設定しているのか。
- 回答) 文部科学省からそういう話は聞いていないが、基本的な問題についてはすべての子どもたちが正解するという認識でいる。
- 質問) 結果を分析する時に大切なのは、得点分布だと思う。分布をグラフにしたときにどこにターゲットを絞るか随分わかるはずだ。実際、教員として欲しいのはその分布だと思うし、分布が出ると分析もしやすくなる。
- 回答) 今後、データを整理して次回以降報告する。
- 質問) 授業の理解度を計るような「授業はわかりましたか」というような質問はあるか。
- 回答) 教科の嗜好を問う設問はあるが、習熟に関する設問はない。
- 質問) 35人学級、少人数指導といった県教委が進めてきた取組と学力テスト結果の関

係を分析はされているのか。

回答) 様々な要因を想定し、ワーキンググループや外部の専門家を入れたりして研究をしているので、その結果を今後、報告させていただく。

質問) 学校に対する調査の回答は誰が行うのか。

回答) その学校の校長となる。

【その他意見】

- ・結果に一喜一憂するのではなく、地に足をつけて着実に目的たるものを進めていただきたい。

協議事項

◆県立高校再編整備計画（平成20年度～平成23年度）一部改正案について

【概要】

※改正部分のみ

(1)「1 再編整備(1)再編統合」に長門地域の県立学校に関する内容を追加

《追加》

対象校	再編整備	内容
大津高校 日置農業高校 水産高校	再編統合	<ul style="list-style-type: none">○ 大津高校、日置農業高校及び水産高校を再編統合して、3つの校地にある施設を活用した新高校を設置する方向で検討します。○ 3校が実践してきた普通科、農業科及び水産科の教育機能を統合後の学校においても充実・発展させます。○ 各学科の連携を図りながら、学科の枠を越えた学習や多様な学習体験を可能とする選択幅の広い教育の展開など、質の高い特色ある学校づくりを推進します。

(2)上記追加に伴う関係箇所の修正

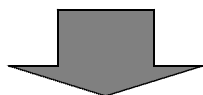
《修正》

(改訂前)

1(4)長門地域については、引き続き、関係者の意見を聞きながら再編整備の検討を進めます。

また、定員割れの状況が継続している高校などについても、今後の入学状況等を見極めながら、再編整備の検討を進めます。





(改訂後)

1 (4) 定員割れの状況が継続している高校などについては、今後の入学状況等を見極めながら、再編整備の検討を進めます。

【 質 疑 】

質問) 対外的な説明は十分に行われていると思うが、教員にはどのような形で説明を行っているのか。

回答) 校長を中心に説明を重ねてきている。教員に対しては、校長から県教委の考えを周知してもらっている。

【その他意見】

- ・あまり長引かせると、子ども達に不安を与えるのではと危惧しているので、大変なことだと思うが、説明は十分にしていきたいと思う。
- ・再編整備計画の一部改訂については、この方向で進めていきたい。あとは事務局の方によろしく願います。